

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-1 人口減少に対応できる持続可能な地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	企画部 政策企画課	浦 亮治
施策名	1 地域活動を行う多様な主体が支えあう、持続可能な地域づくりの推進	事業群関係課(室)		
事業群名	④ 県民と共に取り組むSDGsの推進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	1,726

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画テュンジ&チャレツジ2025 本文)</p> <p>「誰一人取り残さない」社会の実現という理念のもと、経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指すSDGs(持続可能な開発目標)の取組が国際社会全体で進められている中、本県においても、県内への普及・啓発や関係団体等と連携した取組の推進により、持続可能なまちづくりと地域活性化を実現しながら、SDGsの達成に貢献していきます。</p>		<p>(取組項目)</p> <p>i) セミナーの開催など関係団体等と連携した県民及び県内企業への普及・啓発による認知度向上</p> <p>ii) 県内企業の取組の支援・推進</p>							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>令和3年度においては、セミナーの開催等を通じて、普及・啓発に努めるとともに、企業等の登録制度の創設による県内企業のSDGsに係る取組の見える化を図ることにより、県内におけるSDGsの認知度を高めることにつながり、目標を達成することができた。</p>
	県民のSDGsの認知度(アンケートにおける認知者の割合)	目標値①	40%	50%	60%	70%	80%	80%(R7)	
	実績値②	34%(R2)	86%					進捗状況	
		達成率②/①	215%					順調	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等		
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		R2目標	R2実績	達成率			
				R3実績			令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容)	R3目標	R3実績				
				R4計画	事業実施の根拠法令等			事業対象	R4目標				
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)						
				所管課(室)名									
取組項目 ii	○	1	SDGs普及推進事業				SDGsの普及推進に向け、セミナーの開催などによる県民や企業等への周知・啓発を行うとともに、企業等の登録制度の創設により、SDGsに係る取組の「見える化」に取り組んだ。	【活動指標】				<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 セミナーの開催によるSDGsの啓発に加え、企業等の登録制度の実施により、県内においてSDGsに取り組む気運を高めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 セミナーを通じて、SDGsの普及・促進に加え、創設した登録制度の周知等を行いながら、登録制度の件数を増やし、企業等のSDGsに係る取組の見える化することで、県民のSDGsの認知度を高めることができた。 	
				1,726	866	3,895			県民や企業向けセミナーの開催件数(回)	4	7		175%
			2,510	1,255	3,841			4					
			R3-				【成果指標】						
			政策企画課				登録制度への登録件数(累計)(件)	30	244	813%			
				—	—	—		500					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i セミナーの開催など関係団体等と連携した県民及び県内企業への普及・啓発による認知度向上	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>包括連携協定締結企業等と連携しながら、県民や企業向けに普及・啓発にかかるセミナー等を積極的に実施し、県民の認知度を向上させることができた。今後は継続的な普及・啓発と併せて、具体的な行動につながるよう、内容を充実させる必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>セミナー等の内容を充実させ、認知度向上はもとより、県民や企業での具体的な行動を促していく。</p>
ii 県内企業の取組の支援・推進	
<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>「長崎県SDGs登録制度」創設を行い、令和3年度の募集では244件を登録し、SDGsに積極的な県内企業の見える化を行うことと、取組の促進と他の県内企業への横展開を図った。今後は、登録企業のPRや周知の強化に努め、さらなる登録の促進を図る。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>SDGsに取り組んでいる企業の取組を、専用ホームページにより見える化し、企業のPRと他企業への横展開のさらなる促進を図る。</p>

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容		令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 ii	○	1	SDGs普及推進事業 R3- 政策企画課	「SDGs登録制度」の登録企業向けに地方創生推進資金への申込を可能とする等、登録メリットを拡充するとともに、登録企業等の見える化の効果をより高め、また、県内企業におけるSDGsの取組をさらに拡げるために、専用ホームページを作成する。	②⑦	対象者に応じたセミナーの開催、登録制度の活用促進、専用ホームページでの周知により、SDGsのさらなる普及・促進に努める。 また、登録制度における登録事務のDX化等の効率化や市町における住民向けセミナーの促進等にも努めていく。	改善

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点